常盤の翠

志・寛・錬

発 行
令和5年1月18日
鹿児島市立伊敷中学校

「虫の目」「鳥の目」「魚の目」 多くの目を持ち 気付き行動できる人間に

校長　河瀬　雅之

新しい年を迎えました。今年は卯年、跳躍の年です。生徒の皆さんが大きく跳躍する一年になることを願い年明けに五社を参拝しました。（決して信心深い方ではないのですが：：）私も現役最後の学期となり、いつも以上に伊敷中に関わる全ての人々の**幸せを願わずにはいられない心境**でした。

そこで新年の始めに当たり、始業式の挨拶で**幸せになるため**の生活指針を示しました。**キーワードは「気づく」**にしようということです。生活の中で気付く一年にしようというお話をしました。

①**汚れた場所に気付く**

まずはここから、こんな小さな事に気付き行動できる人はもっと幸せの切符を半分掴んでいるのだと思います。**この話をした翌日、それまで気になっていた掃除箇所がきれいになっているのに気付き、嬉しくなりました。**

②**困っている人に気付く**

まずは意識して周りを見ること。その気付きを優しい行動に繋げて欲しいと思います。

③**自分の発言や行動を周りの人はどう感じるか気付く**

私も自らの行動を振り返ると、反省することばかりです。反省は成長のスタートラインです。

④**自分の良さや他人の良さに気付く**（まずは自分の良さから）

皆、自分のことは自分が一番よく分かっていると思っていますが意外と知らないのが自分の中に良さがあることに気付き、その良さを発揮しながら自分の価値を高めて欲しいと思います。

⑤**自分の未来は自分でしか切り開けないことに気付く**

⑥**自分の小さな勇気が周りの人を勇気づけることに気付く**

⑦**今の自分の行動や考えが、自分の未来に繋がっていることに気付く**

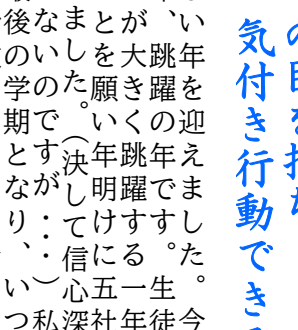
是非様々な気付きを活かし、成長に繋げて欲しいと思います。

いろいろなことに**気付くためには、物事を多面的に捉える事が必要**です。そのためには、よく**「3つの目」**をもてといわれています。まずは**近づいてよく見る「虫の目」**に遠くから**俯瞰的に見る「鳥の目」**そして目先のことだけでなく**世の中の流れの先を見る「魚の目」**。今回はさらに4つめの目「コウモリの目」について紹介します。コウモリは洞窟の中では逆さまにぶら下がり生活しています。つまりコウモリの目とは、**通常とは逆の立場でものを見る事**を指しているのです。自分の立場だけでなく相手の立場で考えてみることにより、多くのことに気付き、人に優しい温かい言動ができるようになります。

この原稿を執筆するに当たり、私が子供の頃NHKで放送されていた「四つの目」という科学番組のことを思い出しました。今回述べた見方とは違い「微速度撮影」や「顕微鏡による拡大撮影」「X線による透視撮影」など四つの見方から科学現象を捉えるという番組でした。これも**違う角度から物事を見る**という点では同じだなと思いました。生徒には、物事を自分目線で捉えるだけではなく、多くのことに気付き、正しく行動し、**幸せを招き入れて欲しい**と思います。

1年社会人に学ぶ

１年生では、進路学習の始まりとして、社会に出て活躍されている方を本校にお招きして、お話を聞く時間があります。その事前学習として、職業調べを行っています。生徒たちはタブレット端末や周囲との対話を通して、学びを深めていました。社会にはどんな職業があって、その職業に就くためには、どのような資格が必要なのか、多くの疑問を解決しようと熱心に取り組み、調べた内容を職業新聞にまとめていました。



2年職場体験学習

２年生では、実際に「働く」を経験する職場体験学習が行われます。２学期後半には、事業所に電話をしたり、事前訪問をしている姿も見られました。準備を進めている生徒たちの様子は、実際に働くことに対しての期待と不安が入り混じっているのが、収入を得るため、社会貢献のため、自己実現のため、他にも様々な意味をもちますが、実際に働く経験や働いている方々の様子から、多くの学びを得て、将来に向けて自分なりの気付きを得てほしいと思います。充実した３日間にしてください。

3年高校入試面接練習

３年生では、高校入試に向けて、日々努力を重ねているところです。来週からは私立入試が本格的に始まります。先日、私立高校の推薦入試の面接練習を担当したときのことです。面接練習を受けに来た三年生の様子は、緊張しているように見えました。しかし、いざ面接練習が始まると、とても堂々としていました。これは、日頃の生徒会活動や授業での発表など、様々な場面で、自分の意見を述べてきた成果の一つなのだと感じました。これまでの努力を信じて、頑張ってきてください。伊敷中みんなが応援しています。

なぜ生徒会活動なのか

伊敷中の生徒会活動は、本校の特色の一つとなっています。何が特色なのかと考えたときに、「組織的な取組」がその秘訣だと思います。まず、学級単位で行う「学級専門班会」では、日頃の生徒会活動で見えてきた課題を指摘し合い、どうすれば学級が良い方向に進んでいけるのかを話し合います。次に、学年単位で行う「学年専門部会」では、各学級の専門班班長が出席し、各学級の課題から見えてくる学年の課題について話合います。最後に、全学年で行う「学校専門部会」では、生徒会役員を中心としながら、学校全体の実態について話合い、学校をより良い方向へ進めるための手立てを考えます。このような話合い活動は、社会に出たときに必ず役に立つ力となります。一人では難しい課題でも、集団で力を合わせることで、解決することが可能になります。生徒一人一人の気付きと行動力で、学校生活をよりよいものへと変えていきましょう。

一年の計は元旦にあり

この言葉の意味は、「一年のことは年の初めの元日に計画を立てて行うべきである。物事は初めが大事、しっかりした計画のもと着実に行うことが大切だ。」という意味です。新しい年が始まりましたが、皆さんは、新年の抱負を立てましたか。前号で、今年は卯年なので、飛躍するための一年にしてくださいというお話をしました。飛躍するためには、助走が必要です。この助走というのが、準備です。日々の積み重ねはとても大きいです。毎日こつこつ続けることで、小さな努力は、大きな成果となって表れます。例えば、英単語を毎日五つ覚えようと決めて行えば、一カ月でなんと百五十語になります。これを一年間続ければ、その数はなんと、千八百語になります。これは、中学校の英語で習う英単語の数と同じです。英単語に限らず、何か一つでも、これだけはと決めて続けると、それが習慣となり、次第に自分の夢や目標を実現するための力になると気付かされます。継続は力なりです。

主な行事予定

7日（火）	学年末テスト（全学年）（～9日）
16日（木）	1年読み聞かせ
17日（金）	2年立志式
20日（月）	1年保健教室
21日（火）	全学年授業参観 学年・学級 PTA 食に感謝する日
24日（金）	3年保健教室
27日（月）	公立入試事前指導
28日（火）	2年保健教室

※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更があった際は，その都度連絡をします。